

多収で穂発芽しにくい二条大麦新品種「はるか二条」を奨励品種に選定

背景

○二条大麦栽培品種「ニシノホシ」は穂発芽しやすく、収穫時期の降雨による品質低下が問題

目的

○穂発芽しにくく、多収で高品質な二条大麦品種の選定

研究内容

- 平成22～25年度
奨励品種決定調査予備試験
- 平成27年度
奨励品種決定調査本試験

成果の内容・特徴

- 「ニシノホシ」より出穂期で2日、成熟期で1日早い
- 「ニシノホシ」より整粒歩合が高く、整粒収量は1割程度多い
- 「ニシノホシ」より穂発芽しにくい。[はるか二条:やや難～難, ニシノホシ:やや易]
- 検査等級および精麦の外観品質は「ニシノホシ」並に優れる

園芸作物部



左:ニシノホシ,

右:はるか二条

今後の展開

- 平成28年6月に、採種ほ場にて、農家向け種子を確保する
- 平成28年秋より、二条大麦栽培地帯の普及を図る(目標150ha)